

心の輪を広げる体験作文 小学生部門 ◆佳作

「みんなとなかよくなりたいです」

相模原市立桂北小学校 三年 藤野 ふじの 絆那 はな

この間、クラスのみんなと、津久井しえん学校に行きました。

しえん学校に着いてから、まず、じこしょうかいをしました。画用紙に名前やすきなどうぶつ、スポーツを書いてそれを見せながら、じこしょうかいをしたので、耳が聞こえない人でも分かりやすくできたと思います。しえん学校のみんなは、きかいにろく音をして、じこしょうかいをしていました。きかいのボタンをおすと、名前やすきなものがながれてきます。そのきかいは、はじめて見だし、それを使ったじこしょうかいのし方をはじめ知って、話せない子も、自分のことや、気持ちをつたえられていきかいだと思いました。

いろんな遊びをした中で、一番心にのこっているのは、ふうせんバルーンです。二つのグループに分かれて、運動会で使うバルーンの上にふうせんをのせておとさないようにするゲームです。ツバメの音楽に合わせてバルーンを動かすのが楽しいゲームでした。津久井しえん学校の子は、先生に、車いすをおしてもらったり、バルーンをいっしょに持ってもらったりして、さんかしていました。しえん

ん学校の先生は、車いすの子に話しかけていたり、もりあげてくれたりしていました。わたしだったら、どうやって話しかけたらいいのか分からずこまってしまおうと思います。でも、今回いっしょに遊んでみて、話せないからといって、話さないんじゃないかと、会話にならなくても、声をかけたりいっしょにもりあがって、楽しむことが大切なんだと思いました。

今回しえん学校に行って、わたしは、さいしょきんちょうしていたけれど、しえん学校のみんなとふうせんバローンなどをしていたら、きんちょうがなくなりました。次に会うときは、しょうがいがある子ともない子ともっとなかを深められたらいいなと思いました。